

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	環境社会学	担当教員	中谷岳史		
学年学科	第 5 学年 建築学科	前期	必修	1 単位(学修)	
学習・教育目標	(D - 3、環境系) 1 0 0 %		JABEE 基準 1 (1) : (d)		
授業の目標と期待される効果： 建築技術者が居住環境を論ずる場合、室内環境のみならず、室内環境に多大なる影響を与える外部環境に関する知識も必要となる。本講義では、環境に対する幅広い知識をもち、社会の中で率先して環境問題に取り組むことのできる人材育成を目標とする。具体的な目標は以下の通りである。 持続可能な社会に向け、地球環境問題に関する知識習得 地球環境問題に対する社会的取り組みへの理解 地球環境問題と建築の関係の理解		成績評価の方法： 大きく分けて 4 課題を課し、小テスト 1 回と課題 3 回の合計 100 点満点を得点率とし、その総得点率によって最終評価とする。なお成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 各種専門書及び教科書の内容と同等レベルの問題を試験などで出題し、総合して 6 割以上の正答レベルに達していること。カッコ内は重み付けである。 持続可能な社会に向けた取り組みについて理解できており、語句説明をほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる(20%)。 地球環境問題の全体像を理解して、解決策を含めた建築設計の資料作成、発表を实践できる(30%)。 地球環境問題の全体像を理解して要点を整理し、環境教育の資料作成、発表を实践できる(30%)。 建築物の木材供給に関して理解できており、ウッドマイレージの計算をほぼ正確(6 割以上)に行なうことができる(20%)。			
授業の進め方とアドバイス： インタラクティブに環境への造詣を深めるため、しっかりと講義を聴き、自分なりの考えを常にまとめる。社会常識といわれる水準に自己を高めておくこと。					
教科書および参考書： 教科書： 環境社会検定試験 (eco 検定) 公式テキスト					
授業の概要と予定：前期			教室外学修		
第 1 回：持続可能な社会、地球と自然環			新聞から、どのような地球環境の話題が取りあげられているか、調べる。		
第 2 回：環境問題の実態及び環境教育の意義			インターネットを用いて環境・循環型社会・生物多様性白書を調べ、理解する。		
第 3 回：環境教育の資料作成			授業時間内でも演習の時間をもうけているが、十分ではないため教室外においても資料作成を進めておくこと。		
第 4 回：環境教育の資料作成					
第 5 回：環境教育の演習発表			演習発表を振り返り、達成及び課題点を整理すること。		
第 6 回：環境教育の演習発表					
第 7 回：環境教育のまとめ			企業における環境教育の実践例を調べること。		
第 8 回：地球温暖化と森林			インターネットで森林白書を調べ、理解する。		
第 9 回：林業の現状と課題の把握、木材利用の状況			インターネットを用いて、森林及び林業について調べ、理解を深めること。		
第 10 回：林業の現状と課題の把握、木材利用の状況					
第 11 回：森林及び林業のまとめ			企業の森林経営の実践例を調べること。		
第 12 回：ウッドマイレージの説明及び計算方法の説明			授業時間内でも演習の時間をもうけているが、十分ではないため教室外においても資料作成を進めておくこと。		
第 13 回：ウッドマイレージの演習					
第 14 回：ウッドマイレージの演習と解説			木材のについて調べ、理解すること。		
第 15 回：林業の持続的発展、木材産業の動向と木材利用			建築業界でどのような地球環境問題が取り上げられているか、調べること。		
-			-		
第 16 回：フォローアップ(授業全体の振り返り)			授業全体について復習すること。		